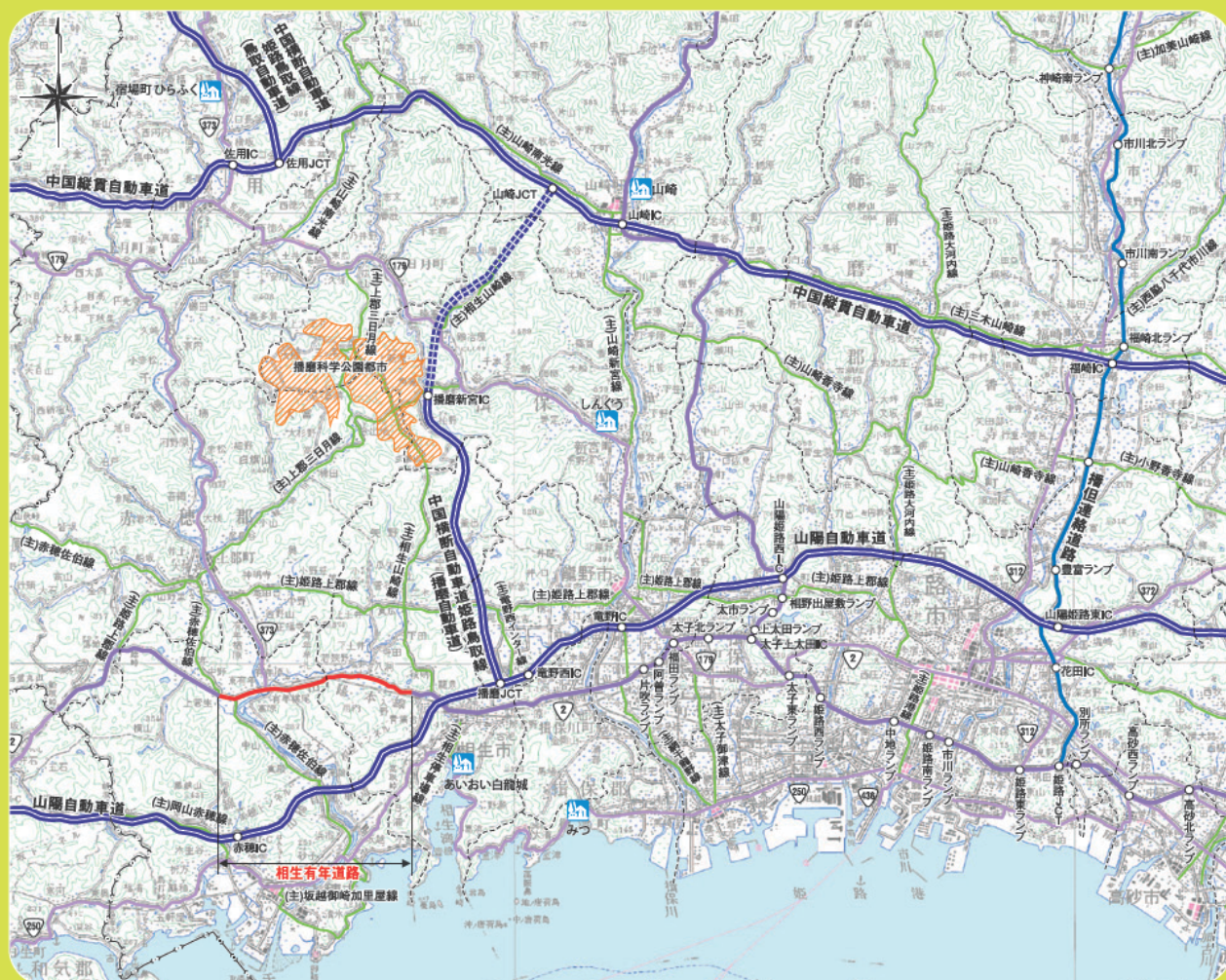


自然を育み、暮らしを支える道路

相生有年道路
国道2号

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

位置図



事業の背景

国道2号は、大阪市を起点とし北九州市に至る延長約669kmの、京阪神地方と中国・九州地方を結ぶ主要幹線道路です。

この内、兵庫県南西部に位置する相生市・赤穂市域においては、他に山陽自動車道(平成9年12月全線開通)が通過していますが、依然として国道2号は、通過交通と地域内交通の混在により交通混雑が発生しています。

また、大型車の混入率が高く、特に夜間の交通騒音値が非常に高い値を示しています。

このため、抜本的な交通混雑の解消と交通安全の確保及び沿道環境の改善が早急に必要となるところです。

相生有年道路は、相生市若狭野町鶴亀から赤穂市東有年までの延長8.6kmにおいて、バイパス及び現道拡幅による4車線化整備を行うとともに、歩道並びに遮音壁、植樹帯の整備を行うことにより、安全且つ円滑な交通の確保及び沿道環境の改善を図るものです。

事業の概要

区間	● 相生市若狭野町鶴亀～赤穂市東有年
延長	● 8.6km (内バイパス部2.8km)
構造規格	● 第3種第1級 V=80km/h
車道幅員	● 3.5m×4車線
最小曲線半径	● 280m
最急縦断勾配	● 4%

事業の経緯

昭和60年度	● 有年道路事業化 (15、16工区 4.9km)
平成元年10月	● 有年道路都市計画決定
平成4年12月	● 都市計画決定 (14-1、14-2工区 3.7km)
平成12年3月	● 都市計画変更 (14-1～16工区 8.6km)
平成12年度	● 有年道路の事業区間を延伸 (14-1、14-2工区 3.7km) 事業名を相生有年道路に変更 (14-1～16工区 8.6km)